

2018年3月期 通期 決算説明会

2018年6月14日



NCS&A 株式会社

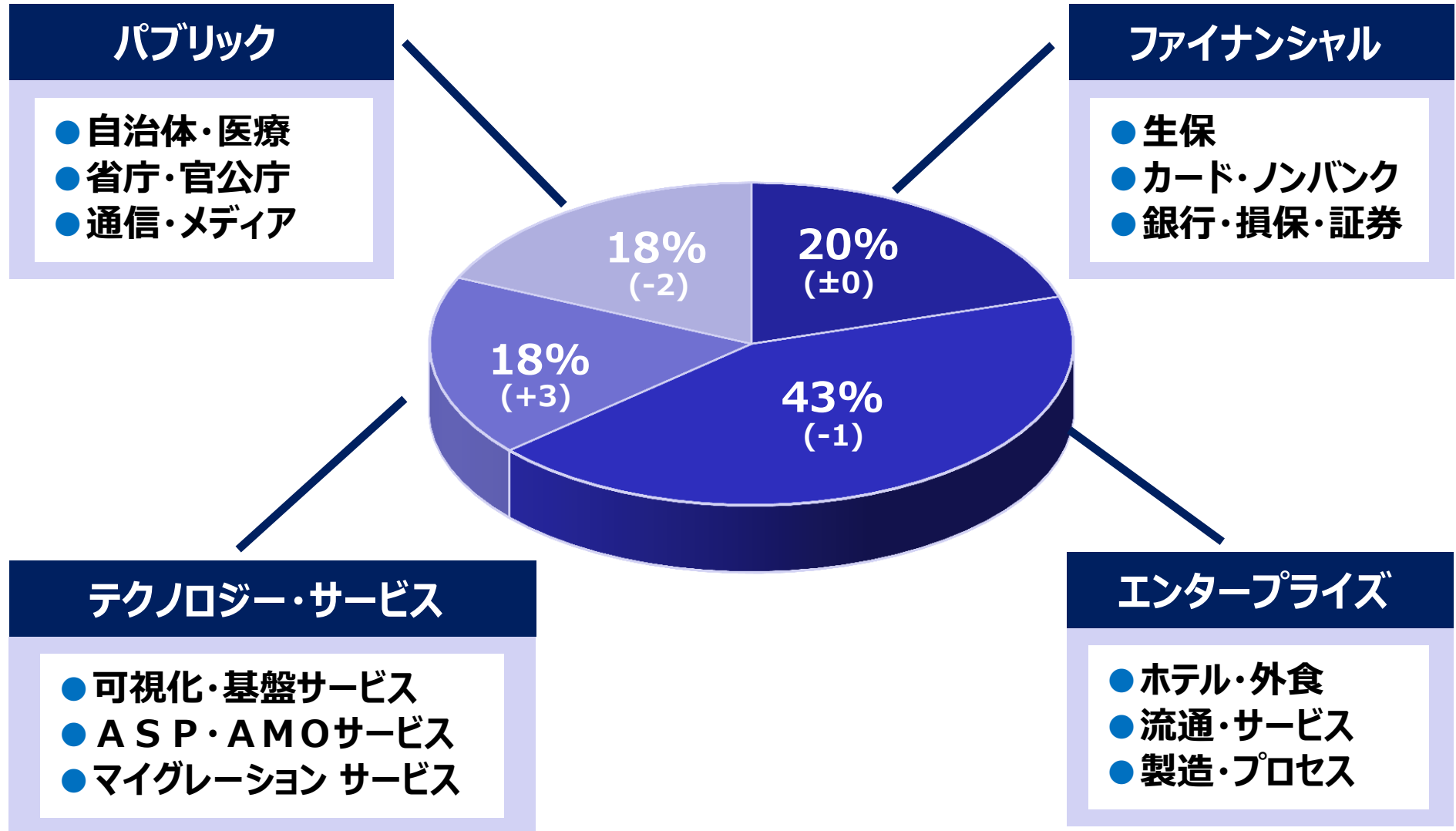
東証第二部 9709



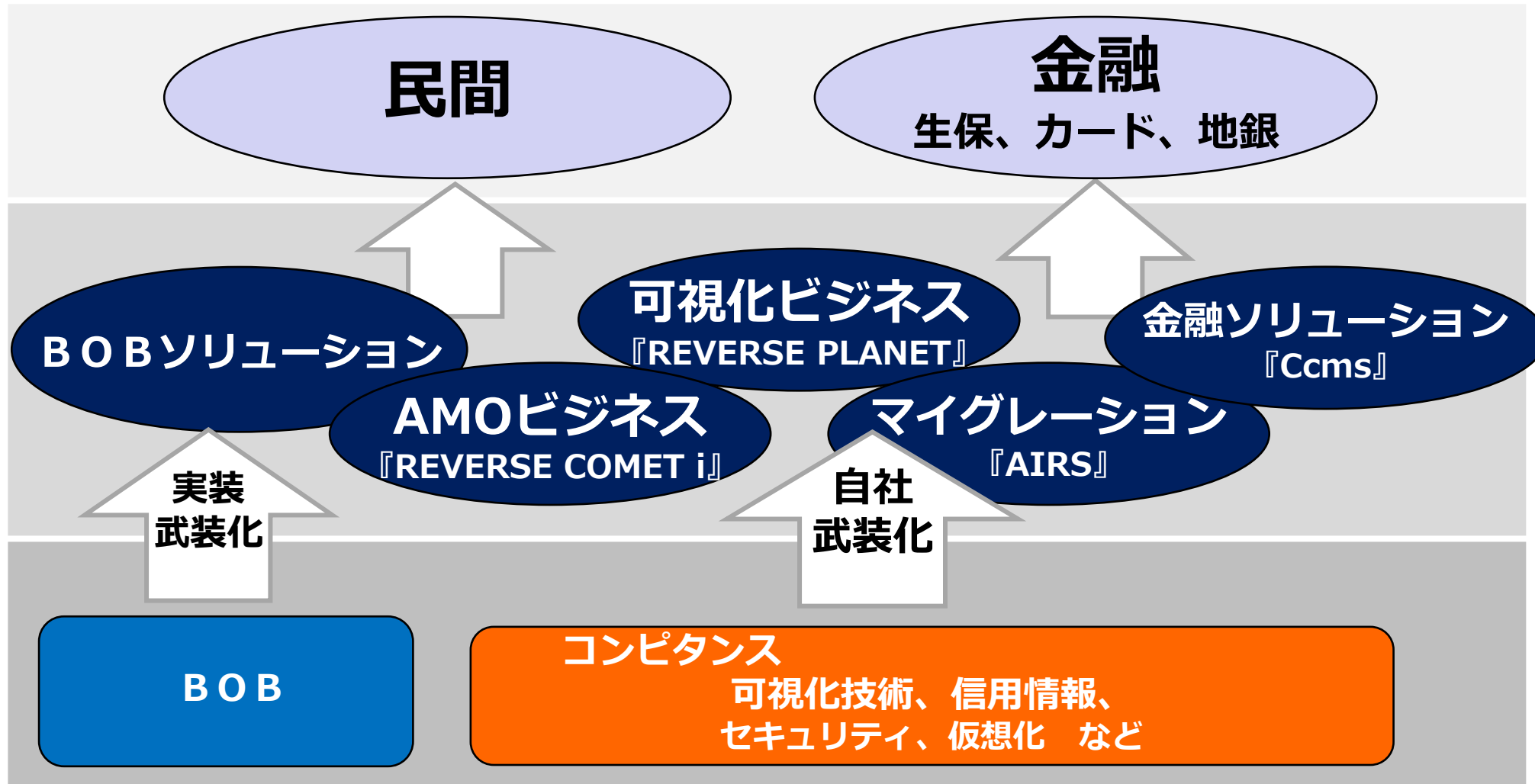
2018年3月期 通期 決算概要

NCS & Aの事業領域

※数値は 2018年3月期 売上構成比 (前期比)



当社の強み



※BOB (ベスト オブ ブリッド) = 各分野で最も優れた製品やサービスのこと

※コンピタンス = 他社に負けない自社の強み

事業環境と前期（2018年3月期）のハイライト

情報サービス産業の事業環境

- 国内景況感の改善にともない企業のIT投資は堅調に推移
- IoT、AI等の新たな技術を活用し、競争上の優位性を確立する「デジタルトランスフォーメーション」へのIT投資が拡大

前期（2018年3月期）のハイライト

【プラス】

- イントラマートを利用したシステム開発が大きく伸長
- 大手SIerからの受託開発は採算性の向上へ
- AI（IBM Watson Explorer）を利用したサービスへの取り組み

【マイナス】

- 不採算プロジェクトの発生
- 無形固定資産（ソフトウェア）の減損損失の計上
- 繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額の計上

2018年3月期 通期 経営成績

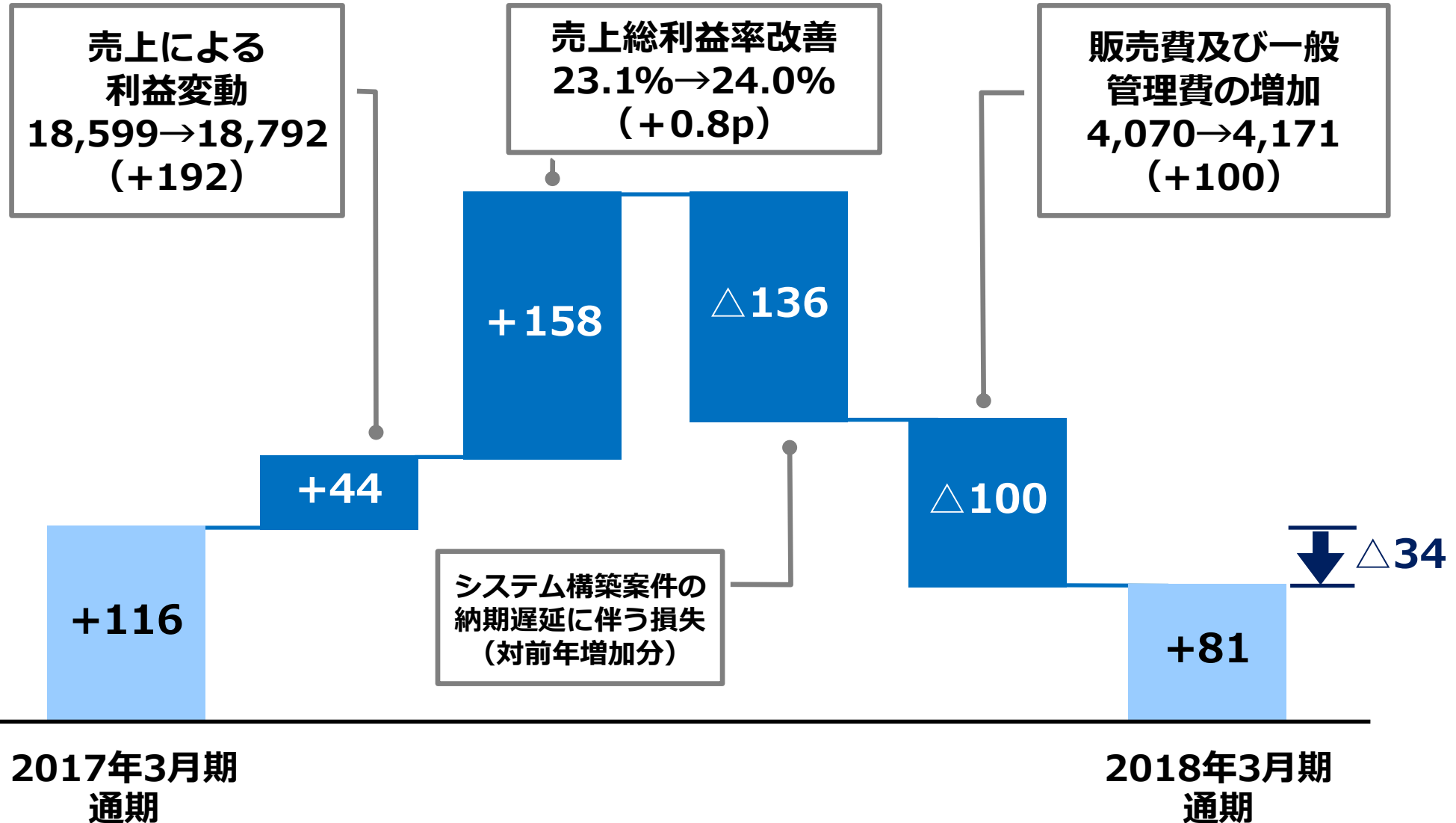
(単位：百万円)

	2017年3月期 通期	2018年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	18,599	18,792	+ 192	+1.0%
営業利益	116	81	△ 34	△ 30.0%
経常利益	285	185	△ 99	△ 34.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	273	△ 1,112	△ 1,386	—

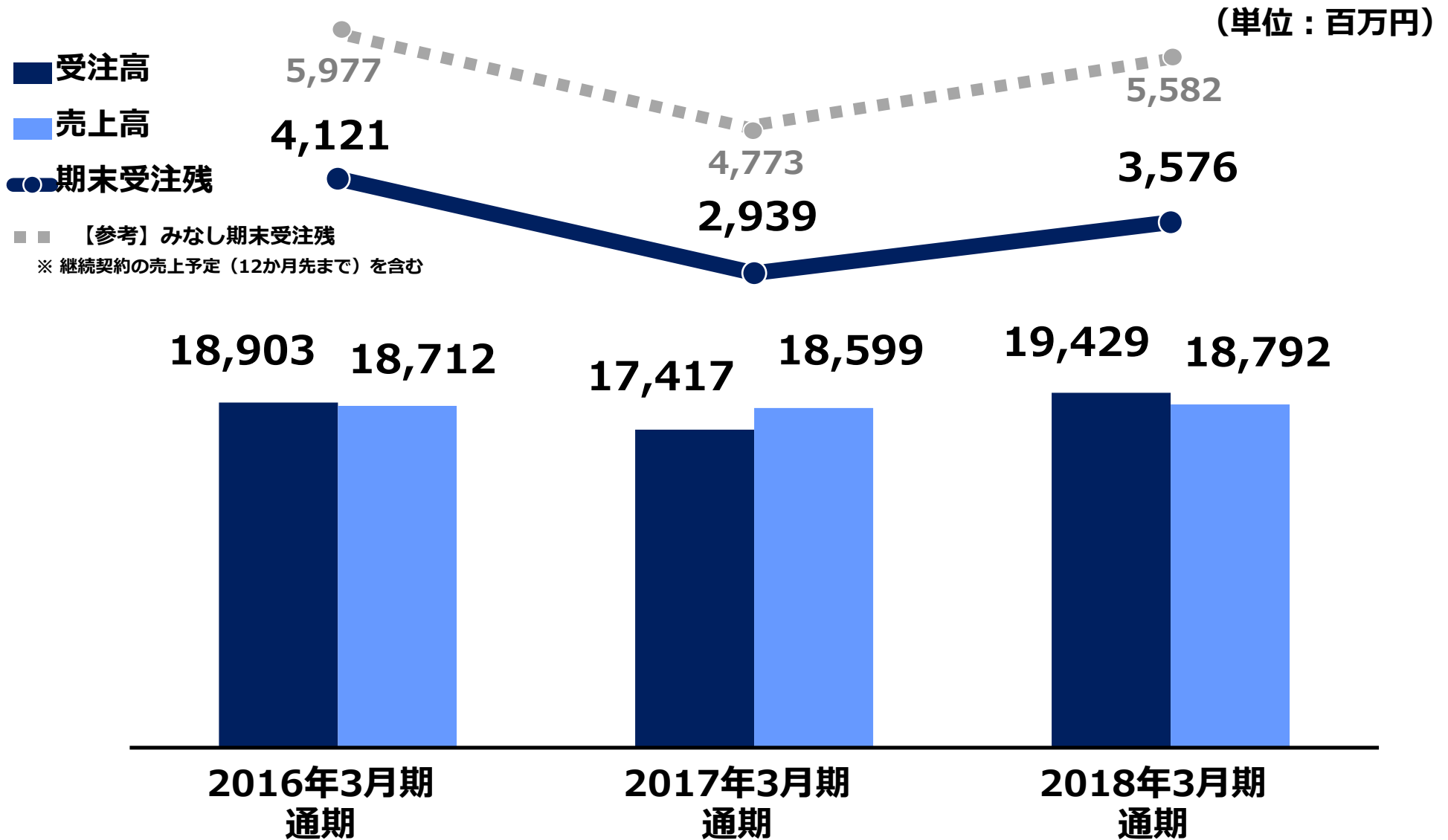
- ・ 無形固定資産の減損損失 △ 195
- ・ 繰延税金資産の取り崩し △ 1,056

営業利益の変動要因（前年同期比）

（単位：百万円）



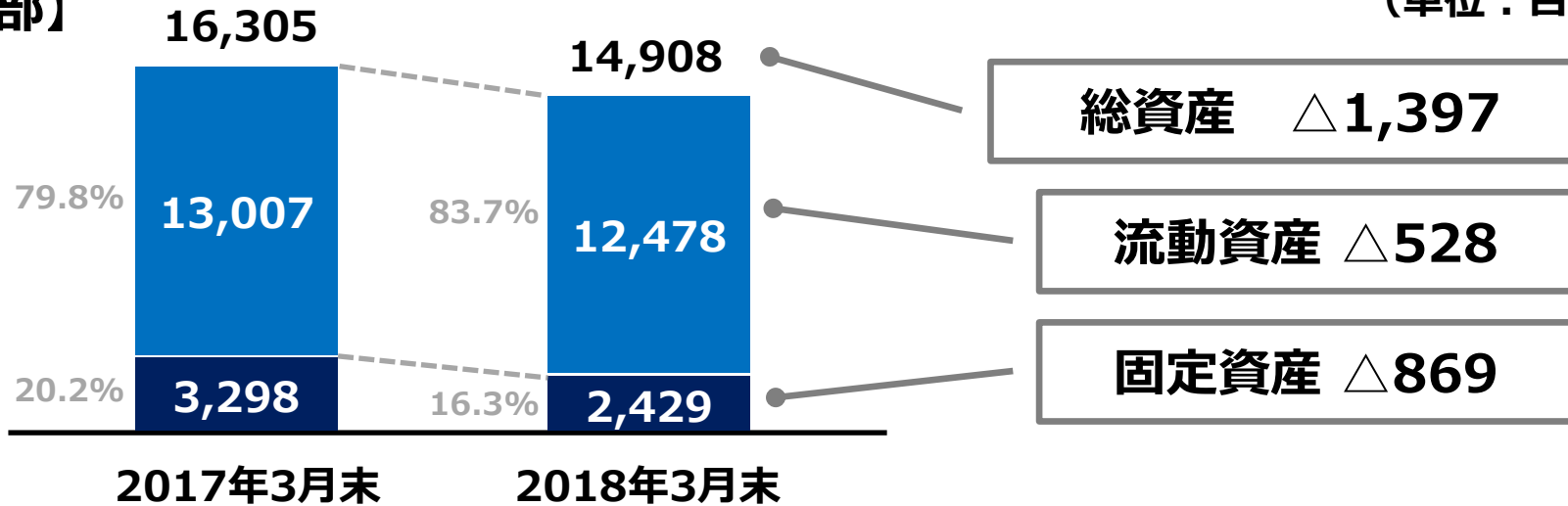
受注・売上・受注残の状況



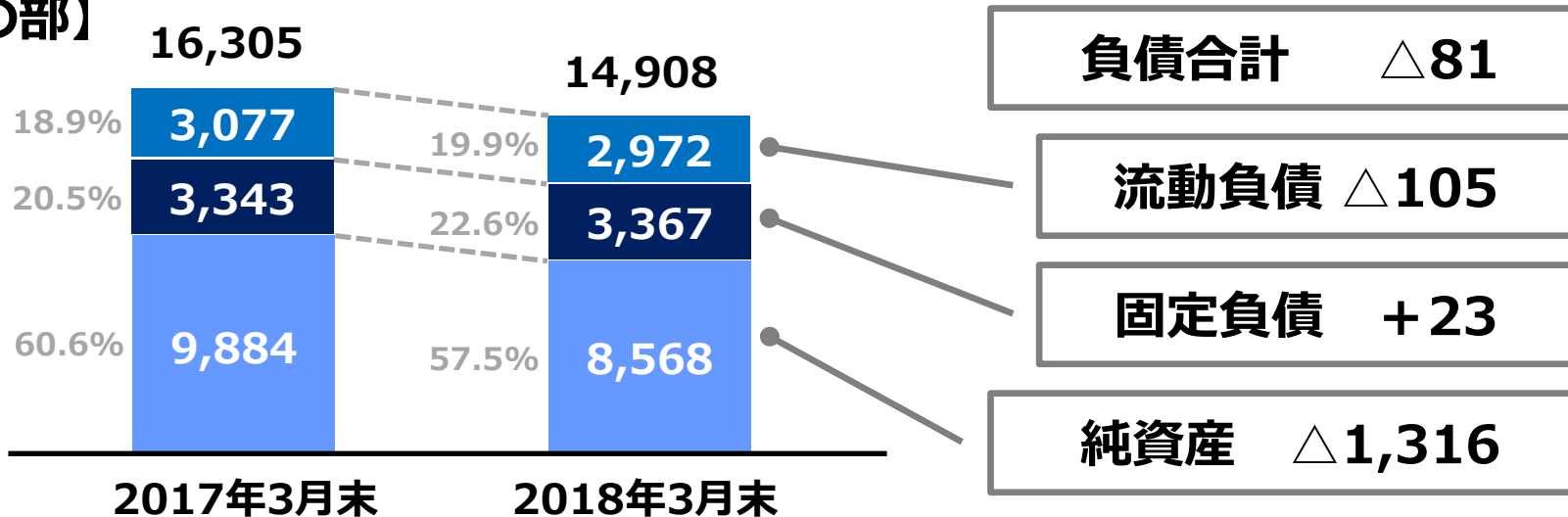
資産・負債・純資産の状況

【資産の部】

(単位：百万円)



【負債・純資産の部】





2019年3月期 通期 業績予想

2019年3月期 通期 業績予想

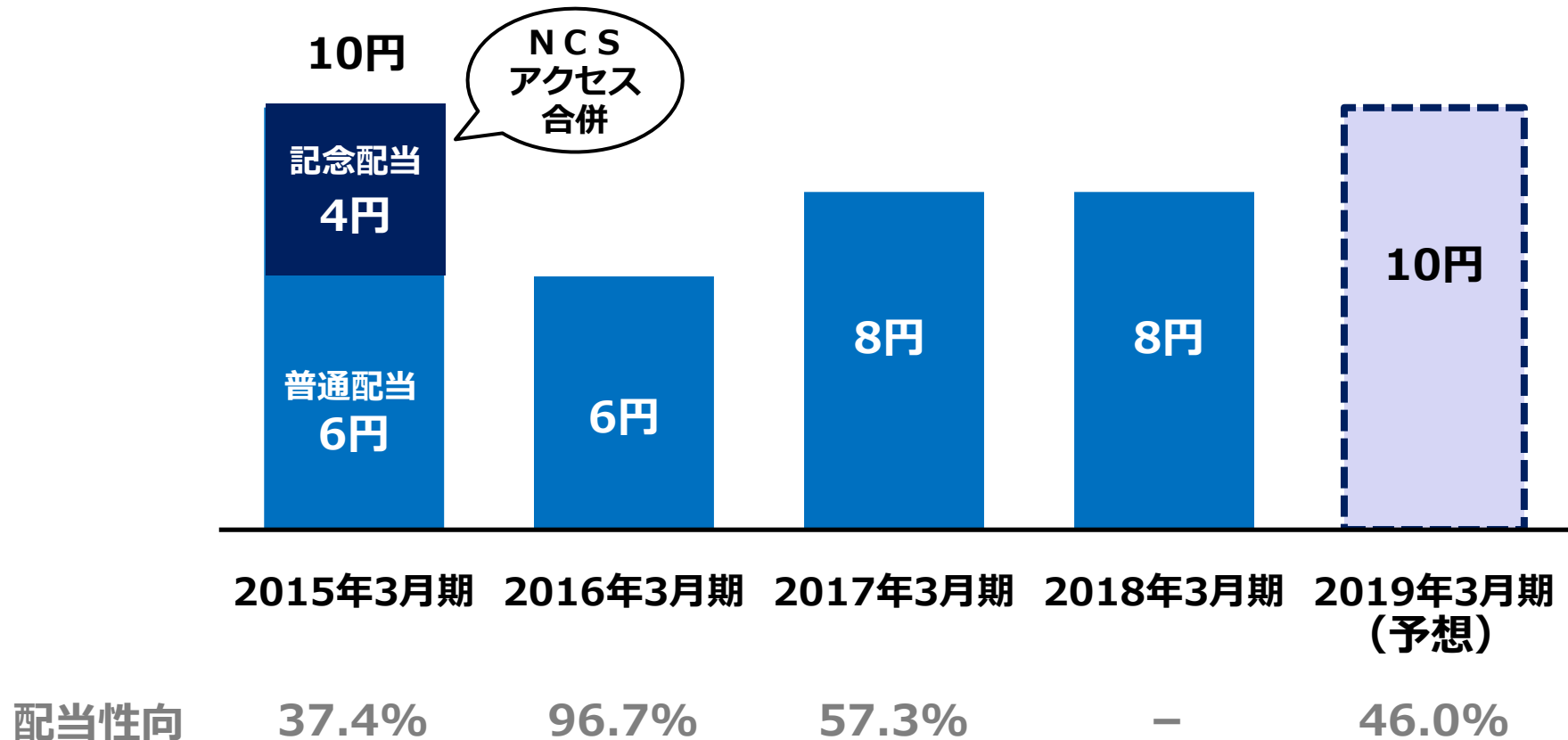
(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	18,792	19,000	+ 207	+ 1.1%
営業利益	81	400	+ 318	+ 391.4%
経常利益	185	500	+ 314	+ 168.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△ 1,112	400	+ 1,512	—

2019年3月期 配当予想

【配当方針】

配当金は、連結配当性向35%以上を目標に収益状況に対応した配当を行うことを基本として、キャッシュ・フローの状況、内部留保などを勘案して決定いたします。



2018年3月期 通期 決算説明会 今後の事業戦略について

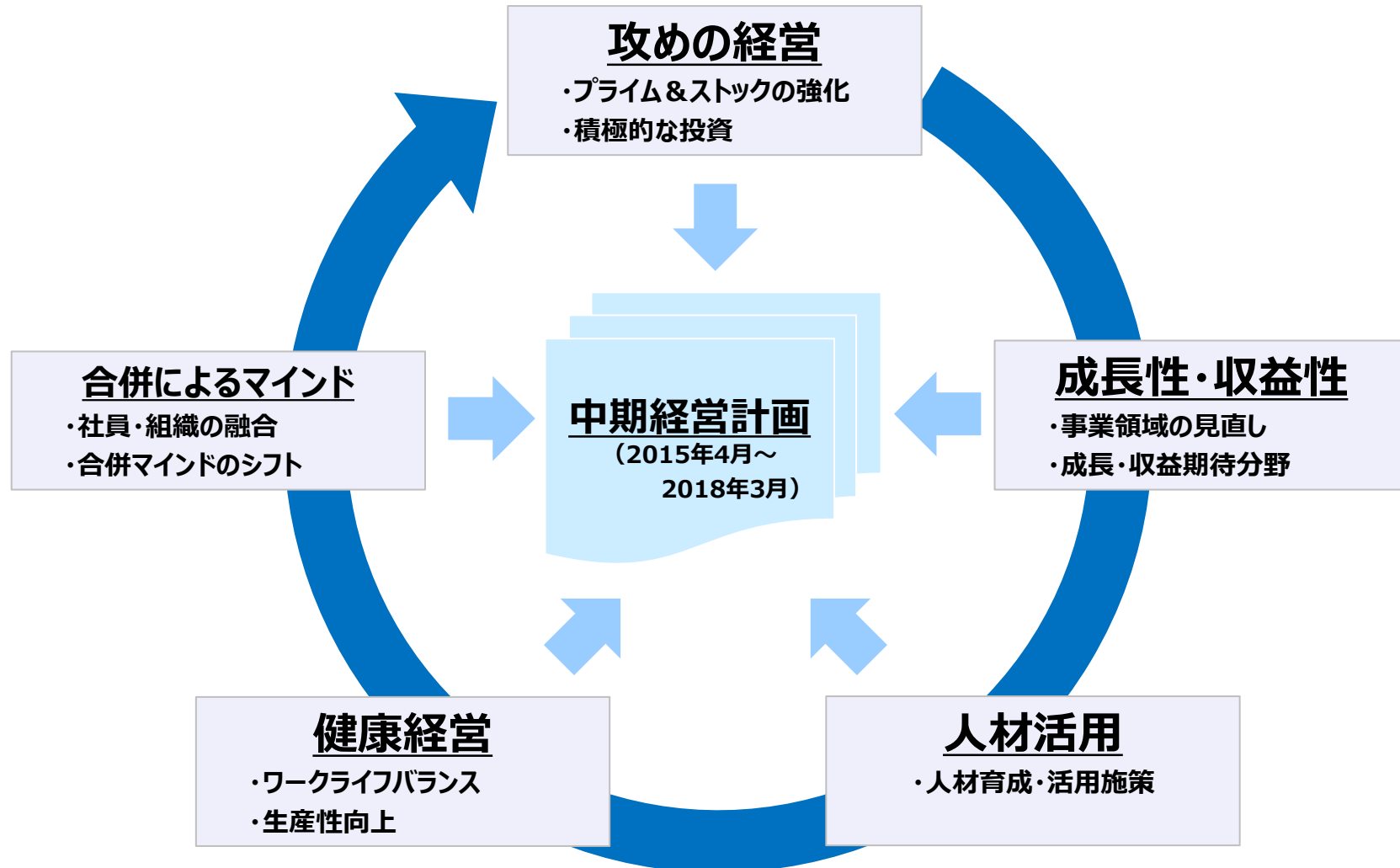
2018年6月14日



NCS&A 株式会社

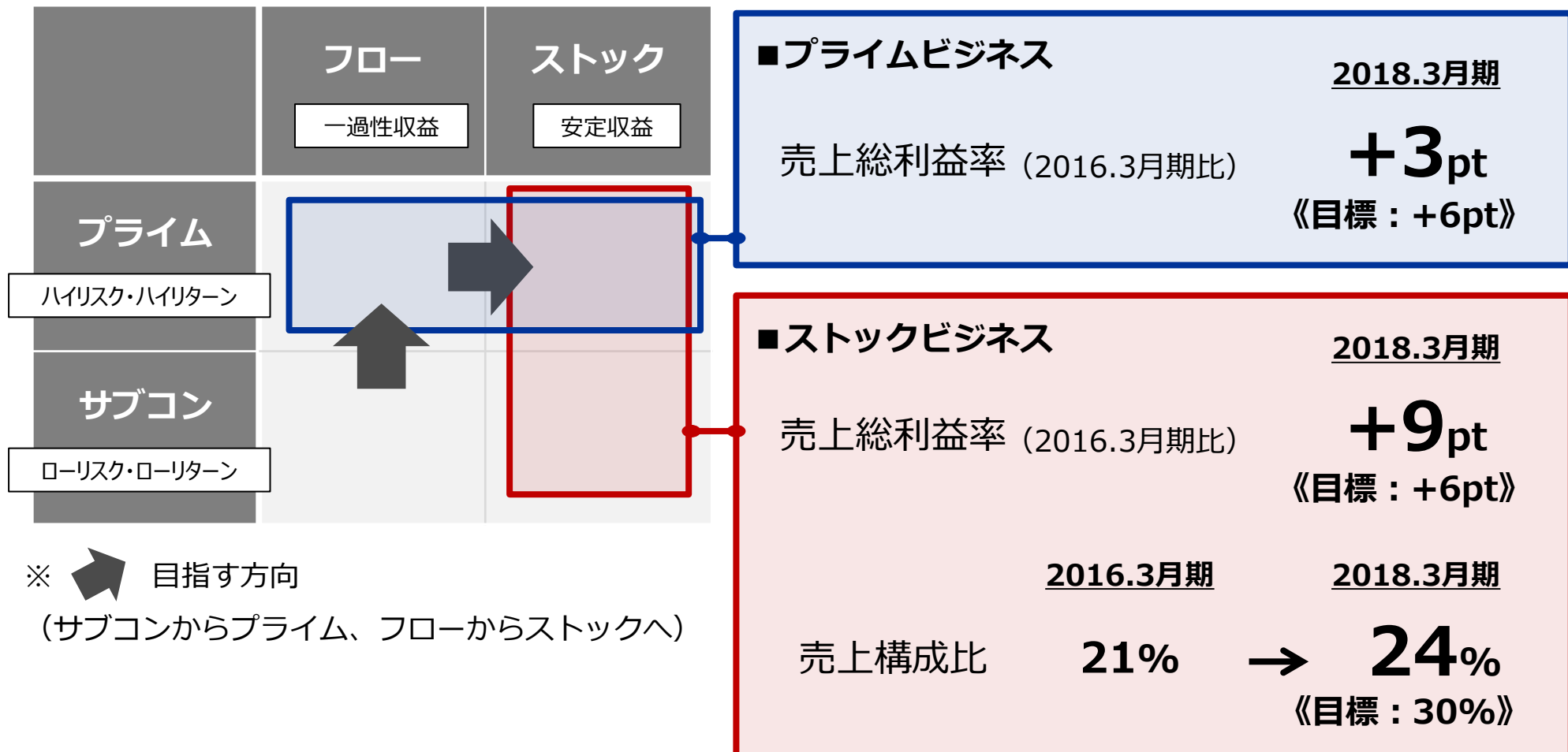
東証第二部 9709

これまでの取組み（振り返り）



プライム&ストックビジネスの強化（振り返り）

収益構造が改善し、プライム、ストックともに利益率が向上
安定収益の確保に向けたフローからストックへのシフトが進む



新中期経営計画（2018年度～2020年度）

2018年度
[第53期]

2019年度
[第54期]

2020年度
[第55期]

次期中期経営計画

Only Oneとなる会社を目指す

- 受託ビジネスからの脱却
- “サービスベンダー”への変貌
- 新規事業へのチャレンジ
- 本当の意味での“働き方改革”実現へ

主力ソリューション強化による トップライン拡大

- 主力商品の強化
- 営業力の強化

世の中から
必要とされる会社に

- お客様とともに成長

人が生き活きと
働ける会社に

- 社員の待遇改善

Grow on with **Clients,
now and forever**

新中期経営計画（2018年度～2020年度）



自主ビジネスでトップラインを上げる

主力ソリューションの高収益化を更に進めるとともに、
営業力の強化により売上の増大を図る

チャネル戦略の強化

- MRI社とのパートナーシップ
- NTTデータグループや主要チャネル企業との協業
- 可視化ソリューションの金融以外の領域への拡販

主力ソリューションの機能強化

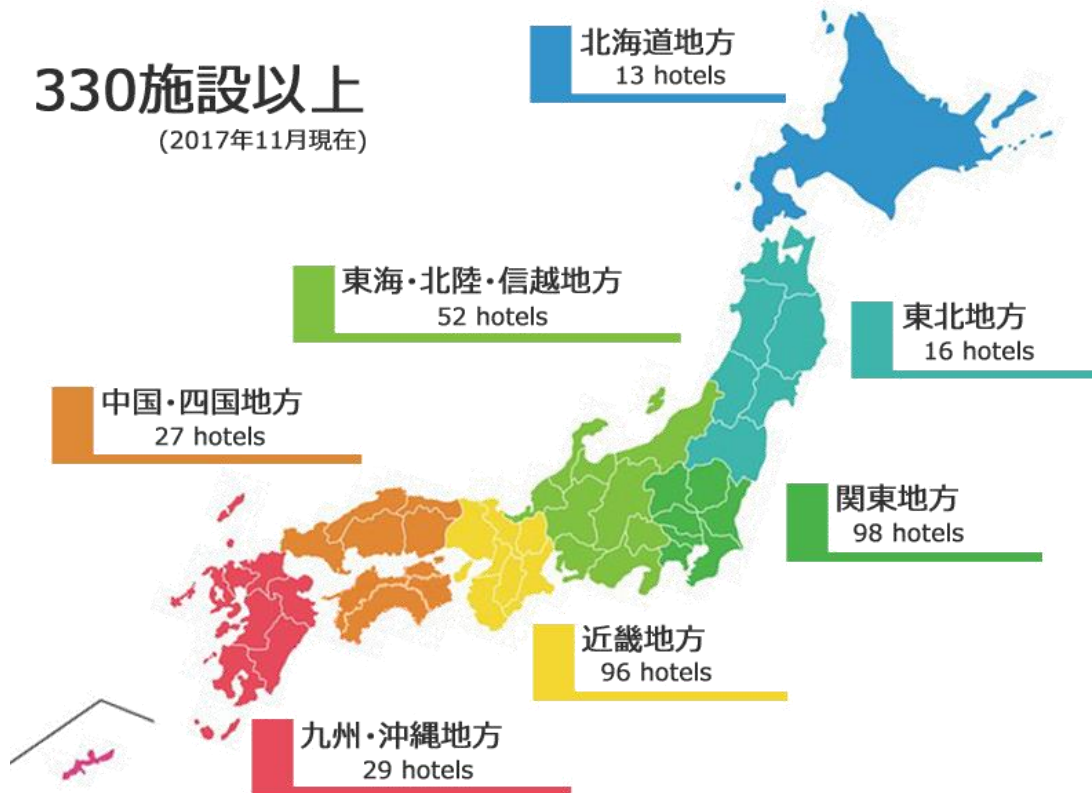
- システム可視化ソリューション「REVERSE PLANET」
- 個人信用情報接続ソリューション「Ccms」
- The確定申告／国税連携Ntax
- ホテル宿泊インターネット予約システム「i-honex」

主力製品の機能強化（具体例）

ホテル宿泊インターネット予約システム「i-honex」

■ 導入実績

330施設以上
(2017年11月現在)



背景

- ・訪日外国人観光客の増加
 - ・円安による国内旅行の好調
- ⇒ ホテル開業ラッシュが続く

製品機能の強化

- ・チェーンホテル向け機能強化
- ・ショッピング機能強化
- ・法規制対応（改正割賦販売法、EU一般データ保護規則）
- ・セキュリティ機能強化
- ・デザインリニューアル

売上拡大

新たな領域への挑戦 AI（人工知能）

コールセンターなどで活用、『質問応答（Q&A）モデル』の提供を開始

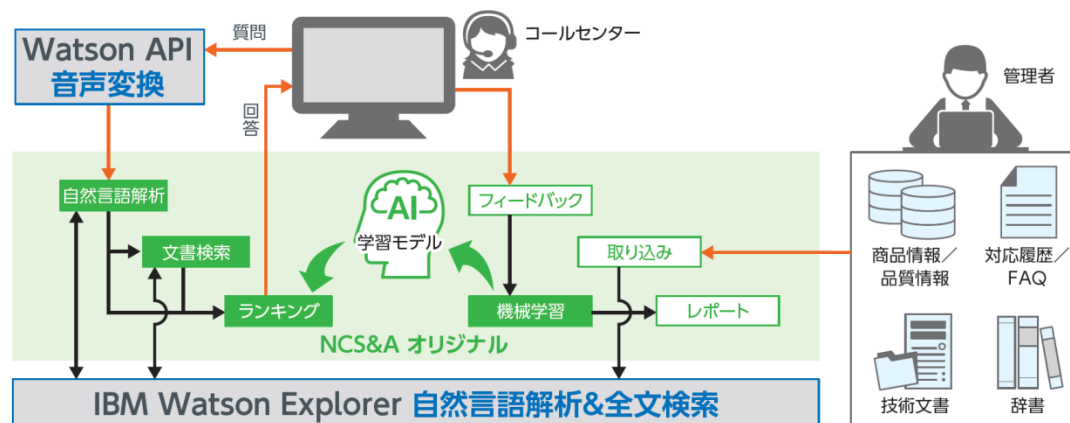
■ 当社 AI サービスモデル ラインアップ

質問応答（Q & A）
モデル

自動応答
（チャットボット）
モデル

VOC（お客様の声）分析
モデル

■ イメージ図



■ 活用シーン

- ✓ コールセンター
 - ✓ 営業・管理者向け営業行動分析支援
 - ✓ 修理・保守員向けオペレーション支援
 - ✓ 技術者向け文献検索支援
 - ✓ 営業・販売員向け商品サービス提案支援
- など

※IBMおよびIBM Watsonは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

リスクガバナンスの強化

プロジェクト損失の抑制に向け、PMOの権限と体制を刷新

～ 現場とPMO推進室の連携強化で、当たり前のことを、当たり前に行える体質に ～

工程移行判定の 厳格化

- 品質分析結果による品質成熟度の確認
- 構成管理の状態確認（成果物のベースライン確定）
- 次工程のスケジュール及びリスクの確認

外注管理の 強化

- 契約における納品物（成果物）及び、納入時期の妥当性
- 工程途中段階での進捗確認
- 厳格な検収の実施

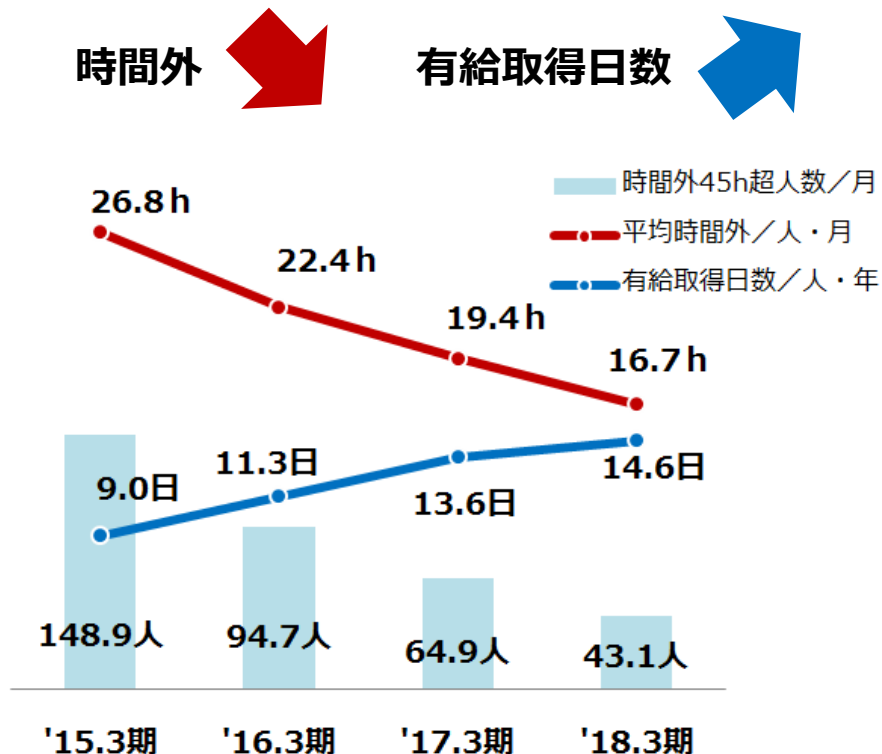
マネージャへの 再教育

- 実行可能性が見えるスケジュールの策定
- 品質向上及び生産性向上ツールの積極的活用
- 社内システム（PJ管理システム等）の有効活用

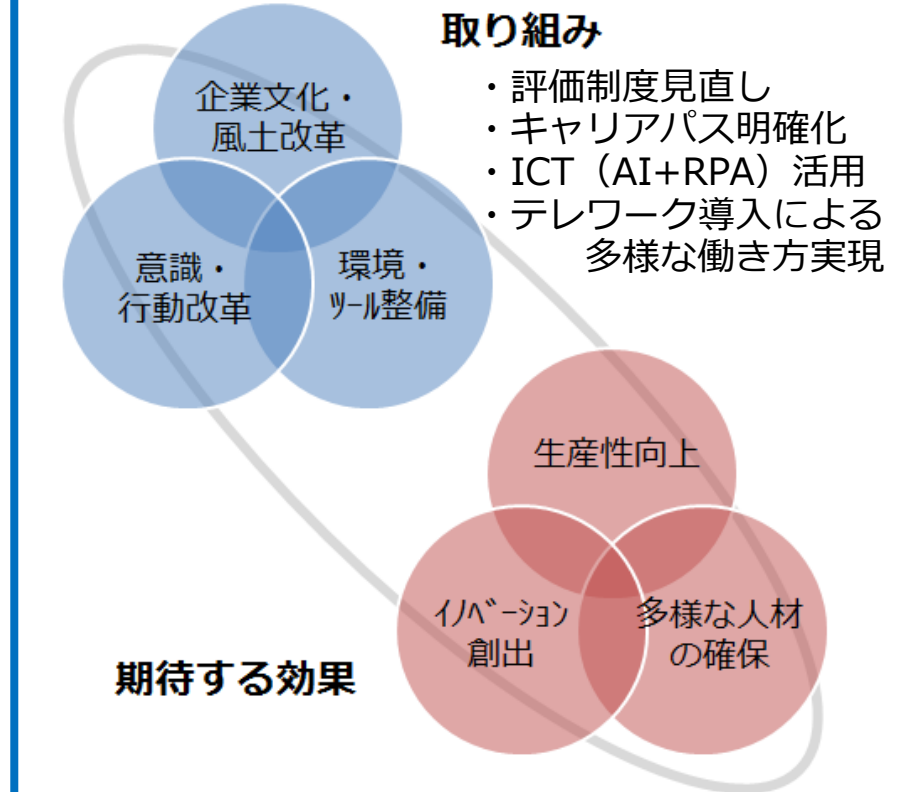
人事制度改革・働き方改革

「健康経営」から「働き方改革」、人が生き生きと働ける会社へ

これまでの「健康経営」の取り組み

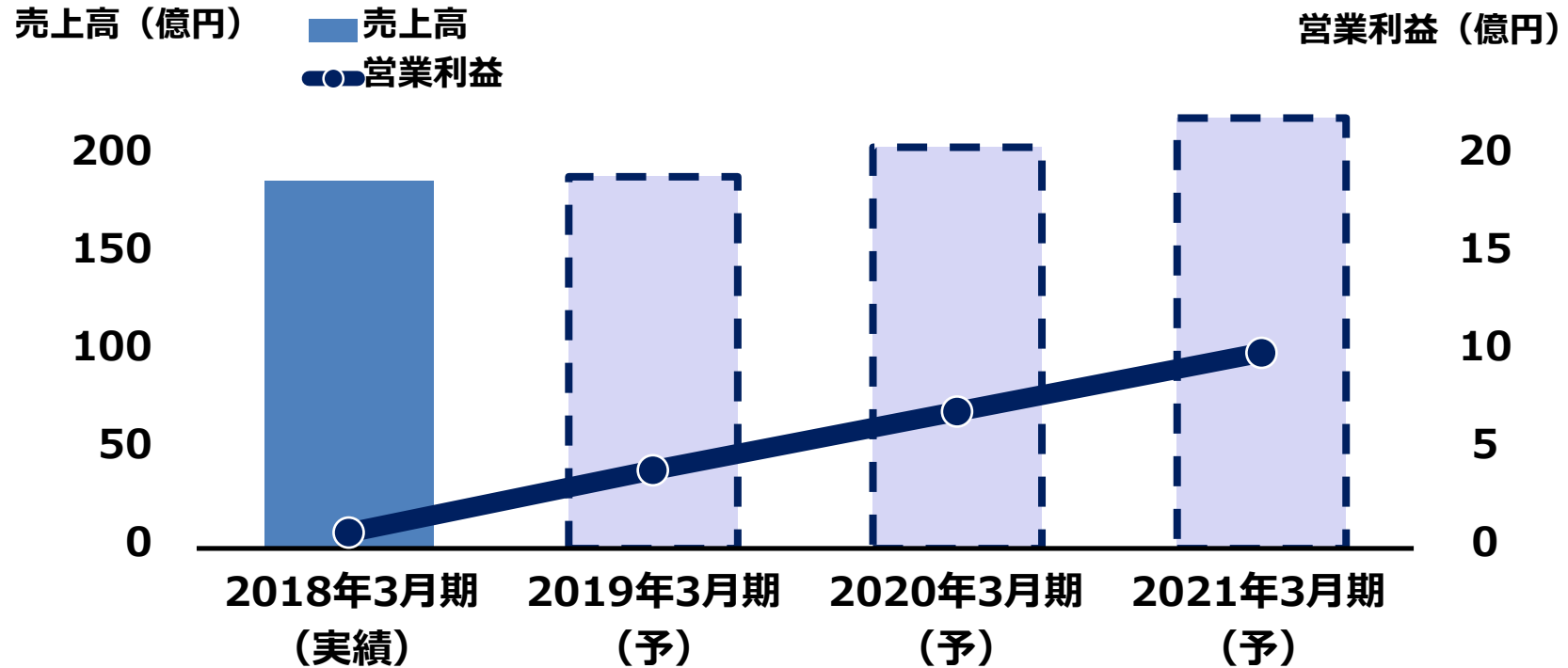


これからの「働き方改革」の取り組み



新中期経営計画 数値目標

トップラインの拡大、収益体質の改善により目標達成へ



<2021年3月期 目標>

売上高 **220**億円 営業利益 **10**億円



NCS&A

注意事項

本資料に掲載されております予測、計画、戦略および将来の業績に関する見通しは、NCS&A株式会社の経営陣が、現時点において入手可能な情報をもとに判断しているものであり、リスクや不確定な要因を含んだものです。

実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く社会的動向、経済情勢および顧客の属する業界での経営環境の変化などさまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となりうる場合もあり、当社としてその確実性を保証するものではないことをご承知おき下さるようお願い申し上げます。



参考資料

会社概要

社名	N C S & A 株式会社
本社所在地	〒540-6316 大阪市中央区城見1-3-7（松下IMPビル）
創業	1961年（昭和36年）10月1日
資本金	37億7,510万円
代表者	代表取締役会長 松木 謙吾 代表取締役社長 辻 隆博
子会社	エブリ株式会社 N C S サポート&サービス株式会社 株式会社フューチャー・コミュニケーションズ 恩愛軟件（上海）有限公司
従業員数	1,368名（連結） 1,048名（単体） ※2018年3月末現在
事業所	東京本社、名古屋支社、丸の内オフィス

企業理念

■ 社是（創業の精神）

コンピューターは社会に奉仕する

■ 企業理念

私たちは、お客様とともに感動を創造する
ソリューション リーディングカンパニーとして、
安心して快適な夢あふれる未来の実現に貢献します。

■ 企業メッセージ

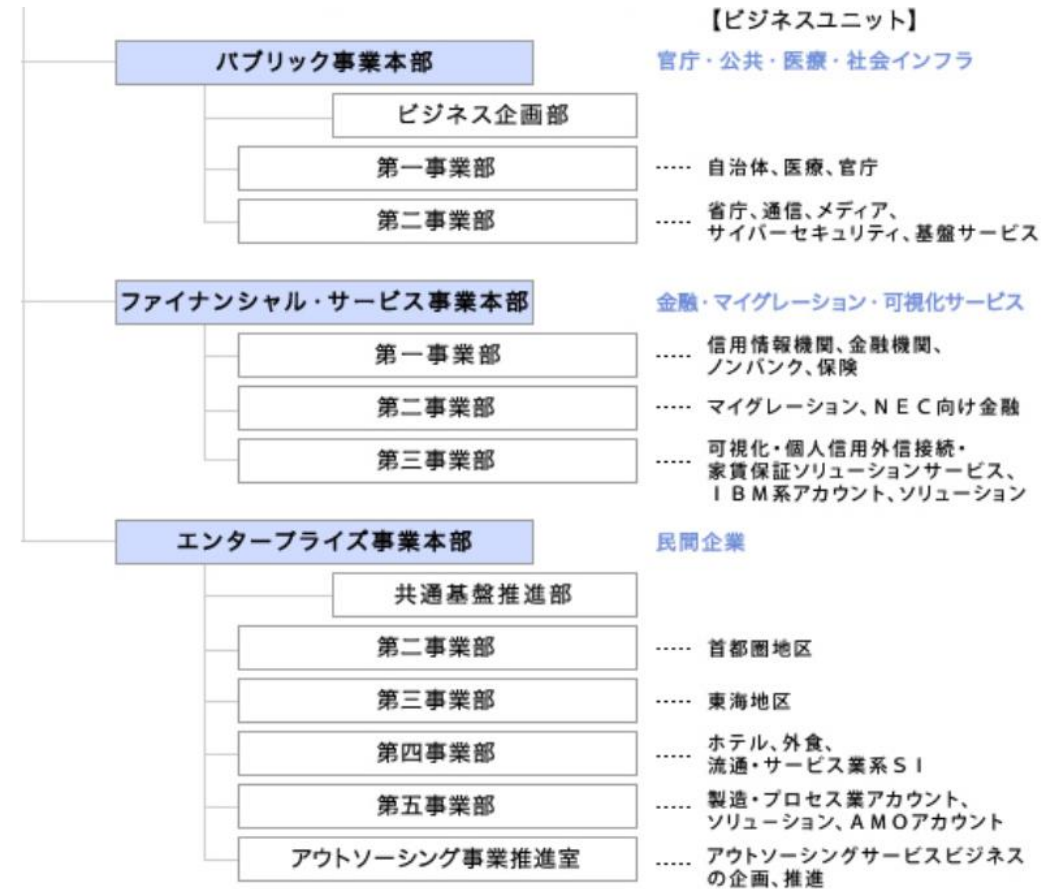
Grow on with **Clients, now and forever**

沿革

- 1961年10月 当社の前身である日本システム・マシン株式会社に電子計算機部を新設し、コンピュータの専門会社設立に備える
- 1962年 3月 日本電気株式会社と販売特約店契約を結び、NEAC電子計算機システムの販売およびサービス業務を開始
- 1966年 9月 電子計算機部を分離独立させ、「日本コンピューター株式会社」を設立する。資本金500万円、従業員45名
- 10月 「日本コンピューター・システム株式会社」に商号を変更する
- 1972年 4月 東京営業所を開設
- 1974年 4月 名古屋営業所を開設
- 1977年 4月 東京営業所を「東京支店」に、名古屋営業所を「名古屋支店」に変更
- 1982年 4月 東京支店を「東京支社」に変更
- 1983年 4月 京都営業所を開設
コンピュータの保守専門子会社として「オーエーエンジニアリング株式会社」を設立
- 1984年 3月 資本金を1億6,000万円に増資
- 1985年 4月 京都営業所を「京都支店」に変更
- 1986年 7月 東京支社を「東京本社」に、名古屋支店を「名古屋支社」に変更
- 1988年 3月 資本金を2億8,600万円に増資
- 11月 資本金を3億5,700万円に増資
- 1989年12月 大阪証券取引所市場第二部に株式を上場、資本金を37億7,510万円に増資
- 1993年 5月 コンピュータシステムの運用サービス子会社として「エヌシーエステクノロジー株式会社」を設立
- 1999年 3月 プライバシーマーク使用許諾事業者の認定を受ける
- 2000年 1月 ISO9001の認証を取得
- 2003年 4月 ISO14001の認証を取得（2017年4月より自主運用）
- 2004年 3月 ISMS適合性評価制度の認証を取得
中国でのオフショア開発拠点として「恩喜愛思（上海）計算機系統有限公司」（NCS上海）を設立
- 2007年 3月 ISO27001の認証を取得
- 2008年10月 京都支店を本社に統合
- 2012年 3月 「NCSサポート&サービス株式会社」を設立
- 4月 「オーエーエンジニアリング株式会社」と「エヌシーエステクノロジー株式会社」が合併し、「エブリ株式会社」に商号を変更
- 2013年 7月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2014年 8月 ソフトウェア開発・保守、パッケージ販売会社の「株式会社アクセス」と合併、「NCS & A株式会社」に商号を変更

組織図

(2018年4月1日現在)



主力製品・サービスのご紹介

REVERSE PLANET

従来手作業で行っていた現行システムの把握を、機械的に解析することによって、様々な角度からシステム構造の分析や修正に伴う影響範囲の調査をデータ項目レベルまで可能にしたツールです。

効率の良い開発保守の標準化を図りたいときに、「システム資産がブラックボックス化してわからない」、「特定の担当者に依存（属人化）している。」、「ドキュメントが陳腐化している。」、「内部統制への対応を行いたい。」といった課題を解決します。

AIRS

(Access Innovator of Rehost System)

REVERSE PLANETの解析エンジンとマイグレーションプロジェクトにて培った技術及びツール群を融合し、AIRSは「高品質」「高生産性」「高拡張性」のマイグレーションツールを提供いたします。

Ccms

(Credit information Connection
Management System)

複数の信用情報機関への接続および切替えを可能にした『個人信用情報接続サービス』です。

各業種の信用情報機関（JICC、CIC、KSC）の照会業務、登録業務を実装しています。

- ・各業種の信用情報機関によって異なる登録フォーマットへの変換および報告を行います。
- ・各業種（金融商品毎に異なる）の信用情報機関のリアル照会を同時に行い、審査（与信）システムへの連携を行います。
- ・各業種の信用情報機関から発生するシステム改訂（法令対応等）を吸収します。

REVERSE COMET i

稼働環境にあるプログラムをまるごと取り込み、システムの解析や影響分析を行うツールです。IBM i（System i、iSeries、AS/400）をお使いのお客様を対象とする商品です。

プログラムを取り込めば、ツリー図やフローチャートでシステムの構造を分かりやすく表示することができます。プログラムに修正を加えたいときには、簡単操作でスピーディーに影響分析ができます。

主力製品・サービスのご紹介

The 確定申告

〈The 確定申告〉は住民税の当初課税に関する一連の事務作業の効率化を図り、住民税課税にかかる膨大な作業量を大幅に軽減することを目的としたシステムです。

国税連携システム Ntax

平成23年の当初課税より確定申告の電子データ（e-TAX分及び、KSK分）が国税庁よりeLTax経由で各自治体に配信されます。それに伴い、従来紙ベースで住民税の当初課税用に処理していた確定申告データの処理方法が大きく変わり、各自治体は現行業務の見直しが必要となります。

〈The 確定申告 国税連携システム Ntax〉は、これらの業務見直しに要する自治体職員の負担軽減と住民税当初課税に要する一連の事務作業の効率化、基幹系業務システムとのスムーズな連携を目的としたシステムです。国税庁からeLTAX（エルタックス）経由で各市町村へ送信される所得税確定申告書データを取り込み、確定申告書第2表の反映を行いパンチデータとして現行の個人住民税システムに出力します。

i-honex

シティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテル、旅館など、小規模から大規模まで、さまざまな施設に対応するホテル・旅館向けインターネット・WEB予約システムです。

全国330以上の施設でご利用いただいています。（2017年11月現在）

REVERSE PLANET、Acces Innovator of Rehost System、REVERSE COMET はNCS&A株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名またはサービス名は、各社の商標または登録商標です。